



読書のまち・かわさき

読書のまち・かわさき通信

NO49

2010. 10. 27
発行

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

『しらんぷり』を対話する”

～「第8回 かわさき読書の日のつどい」への誘い～



11月7日の「かわさき読書の日のつどい」に、絵本作家の梅田俊作さんと梅田佳子さんをお招きします。

演題は、『しらんぷりを対話する』～こどもの問題は大人の生き方～です。

事前申し込みなしでお越しいただけますので、どうぞ、多くの方々のご参会をお待ちしています。



さて、『しらんぷり』の中には、たくさんの印象的な言葉や絵があふれています。そしてその言葉や絵は、こどもから大人までの様々な立場の人の心に波紋を起こします。

物語の最後に、「おわり（ぼくにとっての、はじまり!）」という言葉があります。生きることはもしかしたら、つらいことの方が多いかもしれないけれど、それでも一筋の光を見出して生きていくすべての人にとっての応援歌のように、心の琴線に響く言葉です。



この他にもたくさんの言葉が、作品や作者との対話を求めるように心に届きます。

例えば・・・

“あれ？ ぼくの 心のバクハツが きこえたのかな？”（P14）

“あいつらが 逃げていったの、見なかったのかな。先生もドンだよ。”（P16）

“おじさんが 屋台に 明かりをいれるのを見ながら、ぼくは チクワを ほおばった。”（P40）

“ぼくらも テレビの ワイドショーののりで たのしんだ。”（P57）

“「おれたちを 泥棒あつかいにしたのも、ひきょうだよな。悪いことは なんでもおれたちかよ」”（P65）

“そのうち、セイヤとヨッチンが、ぼくを 遠ざけはじめた。”（P74）

“そこにいた みんなが ぼくから 目をそらした。”（P82）

“くやしい。みじめ。だけど、ぼくの顔は 思いっきり ニコニコバツジになっていた。なにごとにもなかったみたいに。ドンチャンと同じだな。”（P84）

“みんなと同じようにしてただけじゃないか”（P86）

“「・・・そんなこと くり返しても、さみしくなるだけや」”（P93）

“学校での いやなこと、ここで 吐きだしていたんだ。”（P94）

“ぼくの身になって 考えてよ！”（P100）

“ぼくは 布団にくるまって、わめき続けた” (P100)
 “おかげで、どうやら ぼくのはあきらめてくれたらしい。” (P109)
 “「ふふ、パンツぬがされたのが ショックだったんだよなあ」” (P127)
 “ぼくらは 食べかけのチクワを、そっと 皿にもどした。” (P127)
 “「しらんぷりというのは、いじめに加わることで。・・・」” (P129)
 “「うちは問題がなくて、よかったわ」” (P162)
 “それなのに、ぼくたちは・・・・・・・・。
 なにも しなかった。” (P164)
 “「君が いてくれたんで、はかどったよ」” (P176)
 “パシパシッと 火がはせて、光の粒つぶが バアッと 舞いあがった。” (P178)
 “もう みんなは、ドンチャンのことを 忘れてしまったのだろうか” (P182)
 “「それでも やっぱり しらんぷりは あかん。
 心にともっとる 灯が ちっそうなってしまうがな」” (P188)
 “ぼくも走る。とびはねる。” (P196)
 “「生きてたのか！おまえ」
 胸の奥から 熱いかたまりが ドっと こみあげてきた。” (P198)



言葉の数々が読み手に語り、問いかけてきます。

そして、物語は卒業式当日を迎えるのです。

ここでP198の「ぼくだって、ぼくだって・・・・・・・・。だけど、どうすればいいんだ」という「ぼく」の自問に対する答えが実行されるのです。

言葉のみならず、絵を一枚一枚辿っていくと、またいろいろなことに思いが巡ってきます。自己保身に傾き、顔の見えない仮面のような人、人、人。自分ならどこの立ち位置にいて、誰のようにふるまうのか？

絵と言葉が、読み手に対して、時には静かに、時には熱く、対話を求めてくるのです。



☆ 第8回かわさき読書の日のつどい

梅田俊作・梅田佳子講演会

◇市内小中学生との対話、交流を中心に◇

開場 12:45～

会場 中原市民館2階多目的ホール

♪プログラム

- ・読書標語、ポスター入選者 11 名表彰
- ・市内読書活動優秀 3 団体表彰
- ・講演会と子どもたちとの対話

♪会場展示

- ・市内児童生徒の読書標語、ポスター作品
- ・読書活動優秀団体活動紹介
- ・市立図書館活動紹介 等

参加自由、事前申し込みは必要としません。
 先着 350 名です。

☆読書活動優秀団体(個人)

- ◇瀬川成躬さん(市内小学校での読み聞かせ活動等の実践)
- ◇藤崎小学校学校図書ボランティア
代表 東裕子さん
- ◇おはなしくまさん
代表 家村喜代江さん

13:30の開演に先立ち、13:00から「フロンターレと本を読もう」事業制作の、“ふろん太くんの紙芝居”が上演されます。ふろん太くんも来ますので、是非早めに会場へ足をお運びください♪

☆梅田先生と対話する小中学生

- ◇岡上小学校6年 石川蒼さん、平松由芽さん
- ◇南百合丘小学校6年 中村美理さん
- ◇長沢中学校2年 中山聖奈美さん
- ◇聾学校中学校1年 菅原一樹さん、宮坂和郁奈さん

☆読書標語大賞

- ◇臨港中学校1年 工藤アドリアナさん

☆読書ポスター入賞者

- ◇川崎総合科学高校1年 近藤葉月さん、竹野優美さん
- 2年 岡崎里奈さん
- 3年 橋野多万美さん
- ◇中原中学校1年 後藤菜々美さん
- ◇新町小学校4年 埴絵里香さん
- ◇住吉小学校6年 村松芽衣さん
- ◇小倉小学校6年 鹿野里美さん
- ◇渡田小学校3年 美沢真愛さん
- ◇金程小学校6年 加納秀摩さん